

令和4年度 とまり樹はうす 事業計画書

1 はじめに

平成28年に開設以来、体験的な利用については登録制とし、長年同じ利用者が利用してきたが、これまで利用していた9名が、令和3年4月に開設されたグループホームへ入居したことに伴い、新たに利用者募集を行った。その結果、新たに17名が利用を開始し、定期利用者の約半数が新規の利用となった。新規利用者については、利用前のアセスメントを実施し、まずは安全を最優先に支援にあたり、大きな事故なく過ごすことができた。一方で、利用頻度は、月に1回程度の利用者が多く、職員との関係性の構築や環境に慣れるのに時間がかかっている。また、そのこともあり本人の嗜好等を考慮し、一人ひとりが充実した時間を過ごすための取り組みは不十分であった。

令和4年度は、特に新規の利用者17名との関係構築や一人ひとりの特性の把握に力を入れ、利用時間を充実させることに取り組みたい。また、緊急時の受け入れをスムーズに行うためには、長年の課題である職員確保により支援体制を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、令和3年度に引き続き通年の開所を目指したい。

2 事業概要

- 1) 施設名 とまり樹はうす
- 2) 事業種別 短期入所事業（グループホーム併設型）
- 3) 所在地 東京都小平市花小金井南町1-26-28
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 2名
- 6) 利用契約者数 56名
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成28年4月1日
- 9) 職員 管理者 1名
生活支援員 14名（常勤換算1.0）

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望のもてる生活

4 基本方針

1) 一時的な生活支援

家族または介護者が何らかの理由（冠婚葬祭、病気、事故、休養、その他の理由）により、一時的に自宅で支援することが困難な場合に、日常生活に必要な支援を行う。

2) 生活体験としての支援

生活体験の幅を広げ、より豊かな生活を支援する。

5 実施事業（活動内容）

- 1) 居室の提供
- 2) 食事の提供
- 3) 洗濯、掃除等の生活支援
- 4) 健康管理
- 5) 日中活動先（福祉サービス及び職場等）、関係機関との連絡、調整

- 6) 入浴等生活行為の支援
- 7) その他日常生活に必要な支援

6 日 課

5時00分～	7時30分	起床
7時30分～	9時30分	日中活動先及び勤務先等へ外出
16時00分～	17時00分	利用開始
16時00分～	20時00分	入浴
18時00分～	19時00分	夕食
20時00分～	22時00分	就寝

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) 利用者支援の充実を図る

- ① 個別支援計画を作成し、支援方針の共有、実施、評価を行う。
- ② 利用者の状況の把握及び共有の為、ケース記録の内容を充実させる（計画に沿った記録、本人の状況等の丁寧な記載）。
- ③ 利用時の様子を家族等へ報告し、本人や家族等から意見や感想を聴取することで支援の評価を行う。
- ④ 事故防止を徹底する
 - ・服薬管理方法等のマニュアルを遵守し、誤薬等の事故を防止する。
 - ・無断外出行為のある利用者に対し、見守り及び建物内の施錠を徹底する。

(2) 緊急対応の役割を果たす

- ① 365日の支援体制を整備し、緊急対応の支援を行うことでセーフティネット機能の役割を果たす。
 - ❖常勤換算7.5名を採用し16.7名の支援体制とする。

2) 人材育成

(1) 職員の育成・指導

- ① 利用者との関係を構築し、利用者の特性を理解する。
- ② 利用者一人ひとりの心情理解に努め、言葉遣いや振る舞いに留意する。
- ③ 統一した支援を行い、業務の標準化を図る。
- ④ ケース記録を充実させる（利用者の行動の流れ、支援内容の他、支援計画に沿った事項や本人の様子などを丁寧に記載する）。

3) 経営管理

- (1) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行する。
- (2) 介護給付費収入等の安定確保を行う。
 - ・目標利用率： 55%

【令和4年度目標額】

・介護給付費収入	約435万
・都加算収入	約195万
	<hr/>
	約630万

8 夜間等緊急時の対応

夜間等支援者が少ない状況下で緊急的に支援が必要となった場合は、併設しているホームの職員の緊急時連絡網により支援態勢の確保を行う。

9 環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

10 健康管理

- 1) 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底する。
- 2) 関係事業所や家族との連携を密にし、健康状態の把握に努める。

11 防災計画

管理者の指揮のもとに、併設のグループホームとともに非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮	管理者
連絡担当	生活支援員
救助担当	生活支援員

12 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。